



尚操



〈発行所〉

鳥取県立倉吉西高等学校
尚操会
〒682-0925
鳥取県倉吉市秋喜20
倉吉西高等学校内
0858(28)-1811
印刷 (有) 矢積印刷
0858(22)-5312

尚操会の公式ホームページを開設しました



尚操会会長 藤井幸博(倉吉西高二十四回)

尚操会の皆様におかれましては、益々ご清祥のことと存じます。

去る五月一日に尚操会の公式ホームページを開設いたしました。これまでは母校のご厚意により倉吉西高校ホームページを借りてウェブサイトの運営をしておりますが、尚操会ホームページ作成委員様をはじめ、多くの会員様のご尽力により、ようやく公式ホームページを開設する運びとなりました。お世話になりましたすべての皆様から感謝を申し上げます。

公式ホームページ開設からまもなく、同窓生としてうれしいニュースが飛び込みました。それは、五月十八日から二十日にかけて石川県小松市で行われた「二〇一七年LPGAステップアップツアー第六戦」に出場した女子プロゴルファーの永田あおいプロ(倉吉西高五十三回)が、通算五アンダーで優勝したのです。永田プロの優勝のニュースが尚操会公式ホームページ新着情報第一号となり、ホームページの開設に花を添えてくれました。永田プロには引き続きレギュラーツアーでのご活躍をお祈りいたしますとともに、会員の皆様の応援もよろしくお願いいたします。

今後はこのホームページを通して、各期の同窓会、皆様の活動、総会等の告知や報告を

はじめとする各種情報を発信する予定です。小さなことでもかまいませんので、ぜひ積極的な情報提供をお願いいたします。母校との懸け橋となるだけでなく、わかりやすく、愛着を持っていただけるようなホームページを目指して参りますので、ぜひ皆様の交流にお役立てください。

さて、総会の運営につきまして、皆様に提案がございます。毎年八月に尚操会の総会を開催しておりますが、役員、支部長、副支部長を中心とした出席となりがちで、会員皆様の声がなかなか総会に聞こえてこないという課題がございました。そこで、より多くの方にご参加いただくために、卒業年度の十年後(二十八歳)と三十年後(四十八歳)の卒業生に幹事学年を務めていただき、総会の運営にご参加いただきたいのです。同級生との親睦、年代を超えた交流の機会として総会をご活用いただくことによって、尚操会そのものも盛り上げていけるのではないかと期待しております。各期の幹事さんにはご負担をおかけしますが、どうか趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますよう、よろしくお願いたします。

末筆ではございますが、母校の更なる飛躍と尚操会の皆様の益々のご活躍とご健康を祈念いたしまして挨拶いたします。

花・水・木

慣れ親しんだ西高を離れても三ヶ月になる。現任校の窓景色に比べ、西高の風景はなんと美しいことか。どの窓もそれぞれがちがう木々の景色、大山の遠望。「三年の杜」と親しんできたのもよくわかる。先日、久しぶりの西高で、いつもの杜がやさしく迎えてくれた。杜と一緒に暮らした生徒や先生方との思い出が詰まっているからこそ眺めであろう。いつも掃除してくれる生徒たちや手入れをしてくださる福光さん、授業では西高の杜を題材に写真撮影をしたこともあった。西高生と西高の杜がお互いに守り守られて育ってきたのだなとしみじみと思う。昨日の杜より今日の杜が西高生とともに少しずつ大きくなって二百年目、三百年目の西高がさらに発展していくことを願う。

元職員 齋尾 康紀



西高の良さを繋げていきたい

校長 稲毛 靖

さて、昨年度は第三学年が四学級でしたが、今年度は一学年三学級の完成年度となりました。これにより、教職員は三名減少するとともに、生徒数も四十名減少しましたが、昨年度にも増して校内には活気があふれています。

り、過去の先輩方から受け継いだ伝統を意識し、今年度も総合実行委員長を中心とした五十回の節目にふさわしい「VERTEX」を実現する体制を作り上げました。

その理由は、生徒が明るく元氣と意欲的な取組を行っており、生徒総会や球技大会等に教職員がほとんど手を入れなくてもきっちりした企画運営を行っています。中でも西高祭は、今回で記念すべき第五十回目となり、「VERTEX」というテーマを設定いたしました。「VERTEX」の意味は、最高点、頂であり、半世紀にわたって継続してきた西高祭の総まとめとして、より良いもの

部活動においては、生徒数と教員定数が減少する中、先日開催された県総体では生徒達が期待に応えるべく大いに活躍をしてくれました。中でも自転車競技部は昨年度の全国優勝タイムを上回る記録を出した種目をはじめ多くの種目で優勝し、また、弓道部は男女とも個人戦や団体戦で優勝する活躍ぶりを見せてくれました。そして、県体育協会からは弓道と自転車強化指定部となり、県からも大いに期待されています。

また、一〇三回目の創立記念日を迎えた六月十六日(金)には、創立記念事業として全校生徒にむけて尚操会の藤井会長様から尚操会の紹介と後輩たちにエールを送っていただきました。お話の中には、高校時代の西高祭で当時人気であった西城秀樹のパフォーマンスを行ったことや「バンドデート」「お化け屋敷」等のチームデコについて一所懸命取り組まれたことをお話しいただきました。そして、卒業後年数が経過したときに開催された同窓会で、当時の話に盛り上がっていると、高校時代

には分からなかった新たな思いや発見があったことに感動されたことなど、尚操会に対する会長様の熱い思いが生徒たちの心にも届いたに違いありません。短い時間ではありましたが、藤井会長様には心からのメッセージを伝えていただき、心から感謝申し上げます。

あれから四十二年…

第二十二回生 徳田 賢治

(昭和五十年卒業生)

今年、還暦と退職を感激で迎えた私は、現在、農作業や家の片づけをしながらスロウライフを楽しんでいる。こうした節目に、四十二年前の自分を思い起こす機会を与えていただき感謝したいのだが、「あの頃どうだったかいな？」と、思い出すのに一苦労のありさま。それならと思いつくのに役立てようと考えたのは、鏡とアルバム。鏡で若かりし自分を思い出そうとしたが、四十二年の時に耐えきれず思い出どころでなくなってしまう。次にアルバムを探そうとしたが、どこにしまっておいたかがわからない。そうこうしているうちに探す気力と体力が薄れていってしまった。これが、まさしく現実である。

旧校舎には、二年間そして現校舎には三年生の秋、机や椅子を持って引越したことがこれと言って今の校舎には、まわりに田んぼがたくさんあったことぐらいしか記憶にない。私にとっては、旧校舎での醤油

謝申し上げます。

学校規模が小さくなるとうと、先輩方から受け継いだ伝統は在校生に確実に受け継がれており、学校内に活気が満ちています。これも尚操会の皆様からのご支援の賜物と心から感謝申し上げます。これから「チーム

の匂いや緑豊かなウィーンの森、また近くの水道山にトレッキングに行ったことなどがなつかしく思い出される。また、お腹を満たしてくれた売店のパンまた岡田にあった大判焼きのお店、素うどん、おでんのおいしかった天神屋がともなつかしく思い出される。何故か、食べ物の話は、忘れないのである。

西高」を更に発展させ、西高の良さを共有して、未来へ繋げていきたいと考えておりますので、今後ともご支援賜りますようどうぞよろしくお願いいたします。

その当時、同級生男子は二十四人でみなそれぞれ個性にあふれていた。少ないがゆえにまとまりも良くすぐに仲良くなったが二年生になると理数系二組に十九人、文科系六組に五人に分かれての学校生活となった。その当時どんな勉強をしていたのか思い出せないが、私が真面目でなかったことだけは何か覚えていた。確か期末テストの時である。友達の家で、「今日は徹夜で勉強だ。」と意気込んだところまではよかったが、睡魔には勝てず、目が覚めたら昼前だった。その後は言うまでもなく…。ずいぶん先生に迷惑をかけてしまった。そして、情熱を注いだ部活動のことも忘れられない思い出として残っている。記録はないが記憶にあるのは、男子の卓球部の入部は

初めてだと驚かれたことと三年生になってようやく団体戦に出場するところが嬉しかったことである。大変なことでも多々あったが、がむしゃらにやった部活動から学んだことはたくさんあったように思う。

あの頃の自分の将来の夢、体育の教員になりたいという未来予想図は抱いていたものの未来設計図が描けなかった。今、思うと体育の先生の後ろ姿が、いつも夢の後押しをしてくれていた。よき恩師に出会えたことは、一生の宝だと思う。夢はかなわなかったが小学校の教員になることができ、日々、多くの人に支えられ励まされ人としてあつたかいを大切にしながら子ども達と過ごせたことは幸せだった。まさに教育は、人なりである。

今、志に向かって頑張る「チーム西高」から、たくさんの方の元気をもらいとても嬉しい。

これからの夢は大きくもち、夢に向かって羽ばたいてほしい。今後の活躍を陰ながら楽しみにしている。あれから四十二年、今の自分には、されど四十二年なのである。

クラス会だより

秋のクラス会

記

▽とき 平成二十八年

十月三十日〜三十一日

▽ところ 箕面観光ホテル

▽参加人数 十五名

久しぶりの関西地区での開催ということで、在住の者が集り、いろいろ決めて「いよいよだね」と話していた矢先の地震です！ビックリです！クラス会はどうなるの、と心配しましたが、予定していた人は全員参加してくれました。大変だっ



たことだと思いながら嬉しかったです。二年間を共に学び、遊び、楽しんだ友だちですが、卒業と同時にみんな人生ドラマの主役をばり、あの世からのおむかえにも「まだ出番が有るので」と断り、いまだに主役を演じつづけて年を重ね、みんななかなか良い味を出しています！御笑味あれ！

西高九回生 田中みどり

こだま会

「ふるさと探訪ツアー」

記

▽とき 平成二十八年

十一月九日〜十日

▽ところ 三朝温泉後楽・大江の郷

砂の美術館

▽参加人数 十六名

私たち五回生（三十三年三月卒）一組同級生は、会の名称をいつまでも響きあう友でいたいと「こだま会」と決め、オリンピックの年に集まってきました。三十〜四十歳代は地元で一泊二日。五十歳になり、子どもからも手が離れたので、アジア大会の年にもと、二年に一回、



旅行をかねて県外へ。後半は二泊三日になり、六十歳になつてからは一泊二日で毎年開催となりました。以後現在までほとんど毎年開催し、創立百周年記念式典の日も、それにあわせて開催して参列させていただきました。

昨年は「ふるさと探訪ツアー」として地元で開催し、十一月九日〜十日の二日間。まず三朝温泉の湯に浸かり、秋の夜長をうん十年前の西高生にかえって十四名が賑やかに語り合い、翌日は、マイクロバスできれいな紅葉を愛でながら鳥取方面へ。まず大江の郷で食事、買い

物をして砂の美術館へ。楽しい二日間でした。喜寿を無事に乗り切り、今年も元気で皆が集まろうと約束しています。

西高五回生 亀田 恵子

第七回 同窓会

記

▽とき 平成二十九年一月二日

▽ところ ホテルセントパレス倉吉

▽参加人数 四十八名

オリソニック年度に開催している二十六期同窓会も、七回目

の開催となりました。恩師や友を偲び、黙祷を捧げ会を進めて行きました。

創立一〇〇周年記念誌のDVDを流しながら、校歌合唱や、近況報告などで盛り上がりました。飛び入りで、フオークギター持参のK君による懐かしい曲の披露もあり、笑いに包まれながらの楽しい刻を過ごしました。

次回は、還暦同窓会となる事を確認しながら、二次会、三次会へと繰り出してきました。

西高二十六回生 入江 誠

懸垂幕鋼製枠が新たに設置されました



部活動で活躍した生徒の栄誉を讃えた立て看板を、永らく校塔に立てかけさせていただいておりましたが、昨年度末に写真の鋼製枠が出来上がりました。これからも多くの生徒の活躍を掲載できることを楽しみにしています。

平成29年度 尚操会総会案内

と き 平成29年 8月20日(日)

ところ 倉吉シティホテル 2F

総 会 午後3時から

講演会 午後4時から

演題「誰もが輝く人生を送ることができる！
～ヨガに出逢って人生が変わった～」

講師 浦富 靖子(うらとみ・やすこ)さん

記念写真撮影／懇親会 午後5時から

会 費 3,000円

事務局より

会長様のご挨拶にもありましたが、総会の運営について卒業年度の十年後と三十年後の卒業生の皆様に幹事学年を務めていただくことになりました。幹事様には担当年度の前年度の総会にも出席していただき、翌年の総会に備えていただきますよ

うお願いいたします。そこで、今年八月の総会には、来年度幹事様を務められます第五十五回(平成二十一年三月卒業)の幹事様と第三十五回(平成元年三月卒業)の幹事様、またはその代理の方にごぜひとも出席をお願いいたします。

講師紹介 浦富 靖子(うらとみ・やすこ)さん

■プロフィール

美Yoga Plumeria主宰

《YOGA studio in moco》代表。

東京恵比寿ヨガスタジオ《beautiful one day》ヨガ講師。

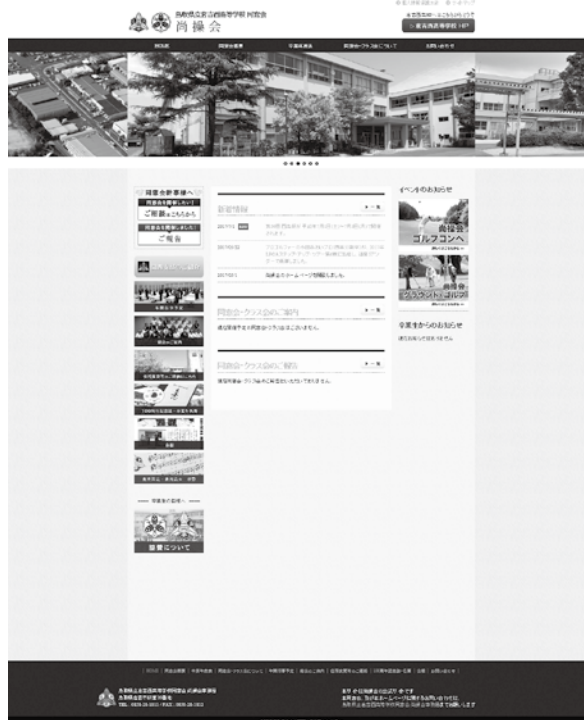


ヨガヒーラーアカデミーハワイ卒業
全米ヨガアライアンス(RYT200)取得
ブリーナチャクラヨガスペシャリスト
ファスティングマイスター初級
美腸プランナー2級

尚操会ホームページ紹介

<http://shosokai.info/index.html>

【公式】尚操会 | 鳥取県立倉吉西高等学校同窓会
上記のアドレスで下の尚操会トップページが開きます。



創立百周年記念誌 販売中です



創立百周年記念誌の購入を希望される方は、西高までご連絡ください。西高にて販売しております。

- 1冊 5,000円(振込手数料・送料が別途必要)